

特選に寄せて

今日 1 月 22 日は海老澤愛之助さんが NHK 全国俳句大会で特選に推選されてその授賞式に出席されています。昨年 7 月ミューズで所沢市武蔵野俳句大会がありました。主催は NHK 学園でホールはそれは活気に溢れておりました。今日はまたいかばかりかと・・・。

海老澤さんは 10 期ところざわ倶楽部の広報部長をされております。昨年の広報紙「広場」1 月号の新シリーズ「私にとっての昭和」で「自分の足跡は今」と題して生い立ちから書かれて、その最後は「これからは、俳句の世界で自分の足跡を残す事が出来れば良いと考えている。」と結んでいます。

受賞句の

あさなさなかなかなのこゑひすいいろ

この句は地域で活動している野老句会の八月の定例会で投句されました。あさなさなの文字数を数えている人もいました。私もその一人で選句も出来ませんでした。

あさなさなとは朝な朝なと書いて、朝ごとに、まいあさという意味です。野老句会の指導者喜多山敏代さんは会報で「今月の句の中から」のトップにこの句を上げ

ひらがなだけの調べがいい。朝のかなかなの声を「ひすいいろ」とは作者特有の詩的感覚に魅せられる。と評しております。

愛之助さんの句は格調高く教えられることが多々ありますがとてもついて行けません。

この野老句会を立ち上げる時私は海老澤さんにご協力をお願いしたところ快く引き受けて下さり、今に至っております。

この会報のあさなさな…の句に続けて

第 51 回

子規顕彰全国俳句大会(高野ムツオ入選)

花万朶ひとひらごとの重みあり 愛之助

があります。

お忙しいと思いますが俳句も編集長も頑張ってください。

八木雅子